

# 新潟県立長岡大手 高等学校 同窓会

長岡高等女学校・研究科・  
長岡女子高等学校  
併設中学校・高等学校定時制・  
第二長岡高等学校

# 夢

## 同窓会会報

～会報でつなく同窓の絆～

### 第8号

令和2年8月4日

同窓会会員数 38,150人  
在籍生徒数 830人



同窓会バナーより同窓会  
ページにお進みください。  
(大手高校HPに進みます)

題字：田中 愛子  
(女40回)

「創立  
120周年へ  
向けて」



東山を望む。手前には栖吉川。

校舎後方に長岡駅。新幹線の線路と並行して信濃川が流れる。

長岡高等女学校、研究科、長岡女子高等学校、併設中学校、高等学校定時制、第二長岡高等学校、長岡大手高等学校

## 2020年（令和2年）総会中止のお知らせ

9月26日(土)に開催を予定しておりました「2020年（令和2年）総会」は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を受け、開催中止といたします。何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。次回は2021年（令和3年）9月25日(土)に開催予定です。



2019年(令和元年)総会の様子

ご挨拶



長岡大手高等学校同窓会会長 島津 太志  
(全一九回)

会員の皆様方におかれましては、ご健勝ご活躍のことと拝察いたします。  
同窓会報第8号の発刊においては、多くの方々よりご執筆をいただき、心より感謝申し上げます。初回の同窓校長として赴任された山本校長先生の「済美」への思いは大変有難く、この時代の良き指標となることと思います。

また、同窓生から寄稿いただいた便りなどを読むと親近感を共有することができます。中でも、本年3月に卒業された石坂さんからの寄稿は大変有難く、感謝申し上げます。このコロナ禍で普通の学校生活・受験就職活動ができない中、卒業され本会に入会されたことを、あらためて歓迎いたします。同時に在校生や教職員の皆様方のかつてないご苦勞をご察いたします。部活動の成果を発揮できないことの虚無感も心が痛むと思います。そういった生徒達のためにも、同窓会をさらに発展・充実させていく使命があります。残念ながら9月の同窓会総会は中止となりましたが、来る120周年に向けて、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。一刻も早くコロナ禍が終息し、普通の生活が戻ってくることを願っております。

長岡花火、高校野球のないことは本当に残念な思いです。次回、皆様と総会でお会いできることを楽しみにしております。

新たな伝統「学校体操」



長岡大手高等学校校長 山本 久  
(全三三回)

「イチ、ニイ、サン、シー、ゴオ、ロク、シチ、ハチ」、腹の底から発せられた、活力漲る学校体操の掛け声が今日もグラウンドから聞こえてくる。逞しい生命力と瑞々しい躍動感に満ちたその声が聞こえると、足早に生徒の元に向かう日々。新入生が名実ともに大手高生となるための最初の試練、在校生が大手高生としての自覚を新たにしている現在の学校体操は、約20年前に誕生したという。昨年度41回目の開催となった東山大遠足とともに、今や大手の代名詞となっている。生徒達は、12種ある動作を一つ一つ習得する過程で、精悍な面構えとタフな精神力、俊敏かつ統制のとれた動きを身に付ける。同窓各位にも、礼儀正しく澁刺とした自慢の生徒達を御覧いただきたい。そうすれば、同窓であることに得も言われぬ喜びと誇りを実感いただけるはず。

今年創立118年目を迎えた母校は、令和4年に創立120年の節目を迎えるが、この先も変わらず、時代の要請に応える、気概とバランス感覚の備わった有為な人材を輩出し続ける学校、魅力的で地域から信頼され愛され続ける学校であるよう、同窓各位からの変わらぬ御支援をお願いしたい。

創立120周年に向けて



同窓会副会長 加藤 法男  
(全三四回)

昨年末に発生した新型コロナウイルスが世界中に広がり、全国に緊急事態宣言が発出され外出自粛や営業自粛、在宅勤務など、これまでに経験したことがない生活を余儀なくされた方も大勢おられることと思います。5月末には緊急事態宣言が解除となり、徐々に経済活動や学校が再開されるなど元の生活に戻りつつありますが、新型コロナウイルスが完全に収束したわけではなく、もうしばらく不自由な生活が続きます。

このような状況ですので、今年度の長岡大手高校同窓会総会の開催は中止となりました。令和4年には創立120周年の節目を迎えます。記念事業も計画されており、後援会、同窓会、PTA、学校が一体となり準備を進めていく予定です。同窓生の皆様方の積極的なご参加、ご支援ご協力をお願いいたします。

人生の宝物



同窓会監事 高見 美加  
(全三八回)

皆様、卒業後母校を訪れたことはございますか？ 昨年春初めて卒業生の同窓会入会式に参加させていただきました。我が母校の生徒たちの様子に触れる機会に恵まれました。そこには、挨拶、態度と誇るべき後輩たちの姿がありました。彼らの明るい未来を確信しました。卒業して30年になろうとしておりますが、長い人生の僅か3年の人間関係が未だ私の大きな宝物になっていることに日々感謝しております。今後微力ではありますが、母校の発展と後輩たちが同窓という同じ仲間として豊かな人生を「済美」の心で力強く歩めるよう同窓会役員として精一杯努めさせていただきます。よろしく申し上げます。

同期会の報告

須藤 美保子  
(全二七回)

私達、第二長岡高校第17回生は、3年ぶりに、令和元年10月5日に、市内の魚藤を会場に、卒業54年目の同期会を開きました。下見、印刷等も幹事で協力し、当日を迎えました。出席者53名は、本人が元気で、家族も健康で出席できる幸せを体中で感じ、それぞれいい顔で集まってくれました。

担任の磯島先生、溝口先生、石橋先生は体調が思わしくなく、ご欠席なさいましたことはとても残念でした。記念撮



令和元年10月5日 於 魚藤 全17回同期会

影で始まり、すごい活気に囲まれた中、校歌や当時の愛唱歌、カラオケの曲などをクラス順に歌い語り、一次会、二次会があつという間に終わり、次の再開を楽しみに別れました。

皆さまも是非、楽しい会を開き、新制大手高校の同窓会をもっともっと広げてみませんか。

(お知らせ)

同期会に参加することを毎回楽しみになさっておられた溝口正太郎先生が令和2年3月21日にご逝去なさいましたことをご知らせいたします。納骨は8月のお盆の後で、それまではご自宅でお子様を守られておられるということですので、ご冥福をお祈り申し上げます。

代表幹事 長部 千里  
(全二九回)

還暦祝いの同期会は、昔の顔と一致しない方も少なくありませんでした。

当時は11クラスもあったので、そもそも話したことのない人の方が多かったのかな？穂苺先生から、我々の入学当時のエピソードを紹介頂き、当時の情景が昨日の事のように



全29回同期会

に思い浮かびました。懐かしく楽しい時間、またいつか持てたらと思います。

高橋 順子  
(全三二回)

『四十年の時を経て』  
令和元年8月12日 長岡グ



全31回同期会

令和元年度(2019年度)同窓会会計報告

単位:円

	収入総額	支出総額	次年度繰越金
経常会計	1,532,471	1,310,274	222,197
事業基金会計	4,698,349	1,607,781	3,090,568
特別事業基金会計	6,266,901	2,970,000	3,296,901
周年事業積立基金会計	3,446,431	0	3,446,431

詳しい内容は長岡大手高校HP《同窓会》に掲載しております。

会報発送協力金 (令和2年3月15日現在)

入金件数	1,394件
金額	2,673,436円
発送経費	2,840,000円

会報発送にあたっては発送協力金の納付が不可欠です。何卒ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

ランドホテルにて百十一名参加のもと昭和54年卒業・全三一回同期会が開催されました。卒業以来はじめての同期会です。恩師の成田守先生より御挨拶いただき、当時の懐かしいエピソードをお話しくいただきました。そして各クラス代表の近況等を聞き、40年という歳月の間それぞれが様々な人生を歩んできたことを実感しま

ました。会話を交わすとお互いに在校当時と変わりなく、タイムスリップしたかの様にも感じられ、青春時代を共に学んだ旧友との再会で有意義な時間を過ごすことができました。末筆になりますが、開催にあたり心温まるメッセージをくださいました大手高校 山本校長先生に御礼申し上げます。どうもありがとうございます。

# 輝け! 青春!! 長岡大手の部活動

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により部活動の開始が6月に入ってからになりました。そのため運動部は令和元年度の実績や活動内容のみを紹介しています。

※部員数は令和2年6月現在

ク ラ ブ	部員数		令和元年度の実績・活動内容など	活動場所
	男子	女子		
テニス(男子)	8	0	春季地区大会シングルスベスト8、ベスト16、ダブルス優勝、ベスト8、県総体団体戦ベスト16、シングルスベスト32、ダブルスベスト16 秋季地区大会シングルスベスト8、ダブルスベスト8、全国選抜県一次予選団体戦3位	テニスコート
テニス(女子)	0	15	春季地区大会 ダブルス3位、県総体ダブルスベスト16、 秋季地区大会シングルスベスト8、ダブルスベスト16、県高校テニス選手権 シングルスベスト16、ダブルスベスト8 全国選抜県一次予選団体戦2位	テニスコート
ソフトテニス	0	10	春季地区大会団体戦2位、県総体団体戦ベスト8、個人ダブルスベスト8 北信越大会個人ダブルスベスト8(インターハイ出場) 秋季地区大会シングルス準優勝、県新人選抜シングルスベスト8	テニスコート
ソフトボール	0	18	春季地区大会2位、県総体第3位、秋季地区大会3位	第一グラウンド
卓球	9	8	県総体シングルス1名出場	第2体育館ギャラリー
バレーボール	0	22	春季地区大会3位、県総体ベスト16、全日本選手権大会県予選ベスト12、秋季地区大会3位、1・2年生大会出場	第1体育館
バスケットボール(男子)	40	6	ウィンターカップ県予選ベスト32、BSN杯ベスト32、U18県リーグ中越地区Bリーグ2位・Aリーグ昇格 その他、県総体、春季地区大会、秋季地区大会、北陸選手権大会、近県大会などに出場	第1体育館
バスケットボール(女子)	0	24	春季地区大会優勝、県総体ベスト8、ウィンターカップ県予選ベスト4、秋季地区大会優勝、BSN杯ベスト16	第1体育館
体操	0	0	休部中	
ダンス	3	58	新潟県ダンスコンクール及び発表会出場、長岡まつりなど地域イベントに多数出演 第3回新潟県高校生ストリートダンスコンテスト部活動部門優勝	第1体育館ステージ
陸上	28	20	【インターハイ】女子5000mW 出場 【北信越総体】女子5000mW 4位、男子4×400mR 8位、男子4×100mR、男子やり投、男子4×400mR、女子走幅跳 出場 【県総体】女子5000mW 優勝、男子やり投5位、女子走幅跳5位、男子4×100mR 6位、男子4×400mR 6位、女子4×400mR 6位、女子800m 7位 【北信越新人】女子七種競技4位、男子4×100mR 5位、女子400m、女子800m、女子4×400mR、女子走幅跳 出場 【県選抜】男子400m 優勝、女子400m 優勝・7位、女子4×400mR 4位、女子走幅跳4位、男子4×100mR 5位、女子800m 5位、女子七種競技5位、男子4×400mR 6位、女子4×100mR 6位、女子走高跳6位、女子200m 7位、男子400mH 8位、男子やり投8位	市営陸上競技場
水泳	8	15	【団体】[県総体]・・・男子総合3位、女子総合優勝 [北信越総体]・・・男子総合4位、女子総合2位 【個人】[インターハイ]・・・男子4×100mフリーリレー56位、男子4×200mフリーリレー57位 女子4×100mフリーリレー29位、女子4×200mフリーリレー21位 [ジュニアオリンピック]・・・女子4×100mフリーリレー22位 [国民体育大会]・・・少年女子B 50m自由形26位、少年女子B 100m背泳ぎ22位、少年女子A 4×100mフリーリレー14位 少年女子B 4×100mフリーリレー14位、少年女子B 4×100mメドレーリレー17位	DPフェニックスプール
登山	11	2	県総体団体男子出場、県総体団体女子優秀賞、北信越登山大会出場	2棟東側階段 周回コース等
野球	32	8	第140回春季大会ベスト8、第101回全国高等学校野球選手権大会2回戦、第141回秋季大会4回戦(ベスト32)	第二グラウンド
バドミントン	34	32	春季地区大会:(男子)ダブルス3位、ベスト16 (女子)ダブルス5位、シングルスベスト16 県総体:(男子)学校対抗ベスト16、女子学校対抗ベスト16 秋季地区大会:(男子)学校対抗2位、ダブルス2位、シングルス2位、5位 (女子)学校対抗3位、ダブルス3位、シングルス5位、16位	第2体育館
サッカー	38	7	春季・秋季中越地区大会ベスト8・高校総体ベスト32・高校サッカー選手権県予選3回戦(ベスト32)	第一グラウンド
剣道	3	5	春地区大会 男子団体3位、男子個人2位 秋地区大会 男子団体3位、女子団体2位、女子個人ベスト8	格技場
ハンドボール(男子)	30	6	県総体優勝、北信越大会・インターハイ出場、春季大会3位、秋季大会4位	第一グラウンド
ハンドボール(女子)	0	21	県総体2位、北信越大会出場、秋季県大会準優勝、北信越選抜大会出場	第一グラウンド
文学	2	2	令和元年度県高校文芸部研修交流会参加。令和元年度新潟県高等学校文芸コンクール俳句部門入選2名 毎週金曜日放課後活動しています。それぞれ創作活動をします。	図書館・部室
生物	0	1	平成30年度新潟県理科大学理系部活動支援事業報告会で「植物の抗菌作用に関する研究」を発表。 各自がテーマを決めて生物に関する観察・学習をしています。	生物教室
地学	4	1	済美祭での自作プラネタリウムの上映を行うため、宇宙に関する学習を中心に行っています。また、天体以外でも地層の観察も充実させていく予定です。	部室・地学教室
英語	1	1	A L Tの先生と英語で会話したり、映画を鑑賞したりしました。スピーチコンテスト、作文コンクール、プレゼンテーション、コンテストなど、 学校外のイベントや研修会に参加することも可能です。	133教室
音楽	4	57	新潟県吹奏楽コンクール高等学校Bの部 金賞・西関東アンサンブルコンテスト 金管八重奏銅賞 NHK全国学校音楽コンクール(合唱)高等学校の部 銀賞(第2位) 第5定期演奏会・中越ジョイントコンサート出演 等	音楽教室
書道	0	35	各種公募展、コンクールに向けての作品制作とイベントでの書道パフォーマンス等の活動を行っています。 第39回熊野町ふれあい書道展 筆都大賞1名、第28回国際高校生選抜書道展 入選2名 令和元年度新潟県書道大会 毎日新聞新潟支局長賞1名、特選1名、準特選3名 等	書道教室
美術	0	7	県や市の展覧会への出品、済美祭の作品展示などの活動をしています。地域の看板つくりにも協力しています。	美術室
写真	1	18	R1年度県写真専門部展奨励賞1点、撮影大会最優秀賞1点、優秀賞1点、奨励賞1点。今年度も同専門部の撮影大会、専門部展(コンテスト)に参加予定。普段は主に木曜日の放課後に活動しています。土日や長期休業中は校外に撮影に行きます。	新聞機関誌室
演劇	1	4	地区講習会、県講習会、長岡市内発表会(春、冬)参加。地区大会優秀賞1席、県大会優良賞	部室・特別教室
生花	0	3	池坊の講師の先生から月2回程度指導していただいています。済美祭や高文祭の生花展、池坊インターネット花展に出展しています。希望者は華道地坊のお免状を取得することもできます。	礼法室
琴	0	12	生田流の講師の先生から指導していただいています。新潟県高等学校総合文化祭での演奏のほか、済美祭などで演奏発表を行っています。 平成30年度新潟県高等学校総合文化祭日本音楽部門 優秀賞	礼法室
茶道	0	11	済美祭のお茶会を主たる目標に礼法室にて茶道宗偏流のお稽古に励んでいます。各自が宗偏流の作法を身につけてお茶会を運営できるよう、 校内にお茶会や校外での茶道ボランティア活動も行っていきます。	礼法室
漫画研究	2	4	毎週火曜と木曜に3棟屋上脇の部室で活動しています。済美祭では、作品集を無料配布したり、来場者からの絵のリクエストを受け付けます。 今年度から、図書館広報のカットやイラスト制作も行います。	部室
放送	0	7	日々の校内放送機材の準備、および各種コンテストへの参加 春 NHK杯高校放送コンテスト県大会ラジオドキュメント部門優勝 夏 NHK杯全国放送コンテスト全国大会出場 準々決勝参加 秋 新潟県高校放送コンテスト ラジオドキュメント部門 3位入賞	放送室・421教室
軽音楽	6	19	済美祭でのステージ発表、校外でのイベント参加(不定期)。	済美会館
家庭クラブ	0	119	家庭クラブ研究、各種コンテストへの応募、保育園ボランティア、ヘルマーク・古切手の寄付などを行っています。 第50回全国高校生食料コンクール最優秀賞受賞	家庭クラブ室



常に目標に向かって、教壇生活58年目の喜び  
「私の背中を生徒達は見ていた」

名古屋 茂郎 (定今七)

校友の皆さん、初めまして。万年一兵卒で教員生活58年目を迎えた名古屋茂郎と申します。見附市片桐の出身です。実家は農家です。当時父母と兄が倒れて、耕作地を守る者がいなくなり、祖父が、「田地を守るのはお前しかいない。」と決めつけ四男だが実質次男坊の私が田畑を守るため全日制進学をあきらめ自転車通える第二長岡高校今町分校に通いました。その時の悔しさは今も忘れません。「絶対あきらめないぞ。」俺にだって意地はあるぞ。」であった。公立・私立高校退職、65歳の時私立大学の講師として、70歳以後も私立高校の講師として教壇に立ち続け、81歳になるが、学校が、生徒が好きなんです。

専任教員時代、学校では常に「鬼の名古屋」と呼ばれていました。ある年某高校で本当に鬼だったか否かの答えを出してくれました。文化祭で先生方の評価アンケート集計結果を発表。項目は1、好きな先生 2、怖い先生 3、優しい先生の3項目。約50人

中全てに私は2番目に。その理由は1、差別なく平等に扱い、2、何事もはつきりで曖昧なことは言わない。3、あくまでも生徒のためになることをしてくれる先生との答えでした。当時「鬼が仏になった」と。教え子たちは卒業後もクラス会は毎年、有志の会、部活(野球部)の会も毎年。彼らによる還暦の会・古希の会・喜寿の会・傘寿の会など沢山の祝福を受けました。出版記念会も開いてくれた。2年後には教壇生活60周年記念会を開いてくれるとのこと。あと2年頑張りますよ。教え子の教員は8人。そのうち国語が7人。そのうち全日制や一流大学でなくても道はある。越後人の粘りが座右の銘「必要とされる人物になれ」



寄贈いただきました名古屋茂郎さんの著書

第32回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章

浅賀 正巳 (全二九回)

この度、平成31年4月29日(月)付けで、第32回危険業務従事者叙勲を受け、瑞宝双光章の勲章をいただきました。警察、消防、防衛など危険を伴う業務に長年携わり功績のあった人に贈られるものです。私は、昭和52年(全29回)に、長岡大手高校を卒業し、航空自衛隊に入隊しました。自衛隊は、主たる任務は祖国防衛ですが、災害派遣も主要な任務の一つです。最も印象に残った災害派遣は、昭和60年の日本航空機御巢鷹山墜落事故です。御巢鷹山の墜落現場での道のりは、登山道はなく当日早



朝から出発し約5時間かけて登り、現場では遺体収容作業にあたり凄惨なものでした。その後、約5時間かけ山を下り、かなりきつい災害派遣でした。その苦労が報われたよう

その苦労が報われたよう受賞の感激もひとしおです。令和元年5月30日(木)に防衛省で勲章の伝達式が行われ、その後皇居に移動し天皇陛下に拝謁しました。天皇陛下に間近でお目にかかることができ、非常に感激しました。自分にとって生涯忘れられない出来事となり、自衛官になったことを誇りに思いました。

役員

同窓職員

- |     |              |
|-----|--------------|
| 会長  | 島津 太志 (全29回) |
| 副会長 | 木村 佑子 (全16回) |
| 〃   | 小森 幸子 (全21回) |
| 〃   | 林 良紀 (全32回)  |
| 〃   | 加藤 法男 (全34回) |
| 〃   | 重山 靖浩 (全39回) |
| 〃   | 高見 美加 (全38回) |
| 〃   | 小林 薫 (全42回)  |
| 事務局 | 勝田理恵子 (全29回) |
| 学校長 | 山本 久 (全32回)  |
| 〃   | 青柳 江美 (全34回) |
| 〃   | 茨木 晃 (全34回)  |
| 〃   | 市川 美章 (全36回) |
| 〃   | 行方 恵子 (全36回) |
| 〃   | 俣倉 剛 (全41回)  |
| 〃   | 監物 裕次 (全45回) |
| 〃   | 神林 貞子 (全22回) |

事務局より

世界で大流行している新型コロナウイルス感染症拡大。同窓会総会をはじめ地元長岡の花火大会など様々な行事や催し物の中止や延期が決まりました。今回の会報「夢」は総会開催有無の最終決定を待ったため1ヶ月遅くの発行になりました。ご了承ください。

このような緊急事態にもかかわらずご投稿いただきました皆さま、また執筆に協力いただきました皆さまに心から感謝申し上げます。

## 長岡大手高校家庭クラブ 第50回全国高校生料理コンクール 最優秀賞を受賞して

家政科 教諭 稲田 さおり



校長室にて、受賞の報告

本校家政科では、科目「課題研究」において小麦粉と新潟県産の食材を用いたメニューを考案し、全国高校生料理コンクールへ毎年応募しています。第50回という節目のコンクールとなった令和元年度は、全国258校から6716点の応募があり、その中で本校の田中千優さん、高野紫帆さんペアの作品が新潟県勢初の最優秀賞を受賞しました。この作品は「新潟花火パン」地域伝統食材を使



「新潟花火パン」

った〜というタイトルの惣菜パンで、長岡花火をイメージしています。パンにはかんずりや鮭、まいたけが使われており、見た目も中身も新潟の魅力満載の作品に仕上がりました。コンクール審査員の先生方から、彩りがよく、味のバランスが絶妙で、栄養面からもうぐれた作品であると高く評価され、受賞者の2名にとっては、大変大きな自信となりました。今年度も、同様の活動を行う予定です。作品応募を通して、長岡の魅力を全国に発信していけるよう、今後とも指導をしていきたいと思ひます。

## 同窓生だより

中西 玲子

(全一一回)

来し方

私は第二次大戦の年豊岡で生まれ、父の出征もあって見附市太田で育ちました。物もなく大変な食糧難の折、長岡が爆撃を受けるなど混乱の時代でした。昭和三十一年第二長岡高等学校に入学、梅松桜竹菊蘭松組とまるで宝塚組の名のような華やかさで三年間普通科柏組に在籍、クラブは極少精鋭のバスケット部に所属していました。当時は積雪も多く三学期の体育授業殆どがスキーで、校庭で歩行ターンの練習後悠久山で滑走、全校の大会も行われました。卒業後東京女子体育短期大学へ、後に神戸長田の神戸野田高等学校の教師を経て結婚し大阪に住む、子育て後東京の書道大学に六年学び、現在書塾を開いております。継続は力なり、皆様悔いなく生きて下さい。

石原 文子

(全二七回)

母校での三年間はあまりにも短く、やりたい事があり過ぎて

焦点が定まらぬまま瞬く間に通り過ぎてしまった。理数系が超苦手な私は試験前になると範囲の丸暗記に大忙し。微かな救いは英語や古文漢文等文学が好きだった事、音を立てて頭の中に入れていく感覚があった。中島敦の「山月記」に胸が締めつけられ涙した夜。登山部顧問の二斗瓶(ニツクネーム)先生に憧れて登った夏の白馬。ワクワクした英一先生の英語の授業、先生宅へ仲間七人でお正月遊びに行きお雑煮をご馳走に(笑)。茶道部、創作ダンス、油絵、フルート…進むべき道を模索し迷いながらも友と共にキラキラしていた過ぎ去りし日々。四十五年後の今、亡き父の道を辿り書道を教えている。

石黒 壮眞

(全七一回)

自分から野球をとった時に何が残るのか。これは私が最も尊敬している人物、鈴木春樹先生の言葉です。勉強ができるそのあなた、あなたから勉強をとった何が残りますか。学校1モテるその君、君からモテる要素をとった何が残りますか。在学中はずっとこのことを考えて生活を送っていました。一昨年の7月、野球を引退し私に何が残ったのか。それは鏡を見て分かりました。

胸から二の腕にかけてはち切れんばかりの筋肉が残っているではありませんか。私はこの筋肉を見た時、国を守るしかないと感じが働き、防衛大学校への進学を決めました。皆さんもぜひ、最も得意なものを自分からとった時に何が残るのか考えながら生活してみてください。

石坂 菜月

(全七二回)

今年の3月、コロナウィルスの影響により開催が懸念されていた卒業式が無事に終わり、晴れて卒業生となりました。最近では外出自粛期間ということもあり、友人達と会って話す機会は少なくなっているのですが、大手の生徒を見かける度に、高校時代の思い出が沢山思い出されます。東山大遠足や済美祭、スポーツ大会など色々な行事がありました。どれもこれも大切な思い出です。卒業して間もないですが、友人達と過ごした日々は、とても貴重で、かけがえのないものだったと感じます。春から皆が、別々の目標を胸に、大学生や専門学生、社会人になつたと思います。不安も多いとは思いますが、皆さんが笑って過ごせていれば幸いです。

ふるさと長岡では今……

校訓「済美」を實踐する後輩たち

長岡大手高等学校校長

山本 久

(巻三二回)

創立百十八年目の我が校は、かつて「大手温泉」と揶揄された時期がありました。今やそうした雰囲気や地域からの評価は微塵もありません。「勉強も部活動も一生懸命頑張る、礼儀正しく、活気のある生徒が集う学校」との評価をいただく事が多く、高校入試では、普通科・家政科ともに毎年高い志願倍率となっています。全校生徒が教職員や来校者に対して「こんにちは」と気持ちの良い挨拶



校長室

をし、集会等での五分前集合が徹底しています。勿論、集会や卒業式では、全校生徒が心を込め、大きな声で校歌を斉唱しています。また、授業を真剣に受け、居眠りする者はおらず、体育授業の学校体操では、腹の底から発せられた男女の力強い掛け声が学校周辺に響いています。上辺だけではない、真の「文武両道」を實踐する生徒達の学校体操は、昭和五十二年から始まった東山大遠足と共に、今や大手の代名詞になっています。生徒達が「大手高生としての自覚と誇り」「大手高生としての一体感」をしっかりと持ってくれるよう心から期待しています。

「何故、大手は創られたのか?」「何故、大手という校名なのか?」「校歌の歌詞の意味は?」「校章の由来は?」「何故、文化祭を済美祭と称するのか?」等々、高校時代の私は、母校の事を何も知りませんでした。人を好きになる事と同様に、母校の事を知らなければ、母校への愛着や誇りが生まれるはずがありません。同窓の校長としての務めは、母校の歩みや伝統等を後輩達に語り、伝える事だと思っています。こうした思



R2.3 卒業式



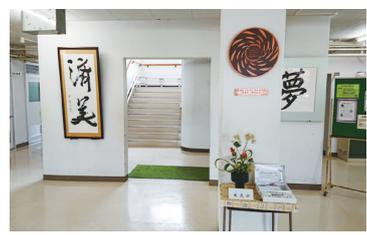
学校体操

いから、昨年四月の着任以来、校訓としての「済美」について、度々生徒達に話しています。ただ、「済美」を校訓とする旨の明確な記載は、校史を紐解いても確認できないのですが、様々な資料に目を通す内に、大手の校訓は「済美」であるとの考えに至りました。

本校における「済美(美を濟す)」の始まりは、創立二か月後の明治三十六年七月七日に発足した「済美会」に遡ります。「済美」とは、中国の歴史書『春秋左氏伝』の「世々済其美不隕其名(世々その美を濟し、その名をおとさず)」という一節に拠るもので、「子孫が父祖の遺業を継いで、良い行いをする」という意味です。これを生徒達に当てはめれば、「先輩達が築いてきた伝統をさらに発展させるよう、大手高生としての

自覚と誇りを持って文武両道に励む」という事であり、咀嚼すれば「人として美しく生きる、人として正しく生きる」という崇高な人生訓に繋がるものと思います。「良妻賢母、勤儉質素」を校風とした長岡高女・長岡女子・第二長岡の時代、「済美」の精神は「希望の方にいざ伸びん」「清くゆたけく生きゆかん」「正しき道にすすまなん」などと校歌に唱われました。「人としての美しく、正しい生き方」は、「済美会」「済美祭」「済美の友」「済美会館」の名称と共に今日迄連綿として受け継がれているのです。

今年五月中旬、校長室と生徒玄関に「済美」の二文字を書いた額を掲げました。文字は、元同窓会長・前後援会長の田中愛子(玉蘭)先輩に揮毫いただき、額は同窓会から寄贈いただきました。生徒達には、毎朝登校した際に生徒玄関の「済美」の文字を目にする事で気持ちを引き締め、充実した一日を過ごすよう伝えられています。伝統を単に受け継ぐのではなく、その上に新たな伝統を創っている後輩達を心から頼もしく思っています。



生徒玄関